



あたらしい本



ことしさいしょ あたら ほん よ はい
今年最初の新しい本！読みやすいシリーズものがたくさん入りました。



『不思議なテレポート・マシンの話』飯田隆 (筑摩書房)

おじさんがフリマで出会った奇妙な機械は、物体をデータ化して複製するという装置だった。もしもあらゆるものが複製可能になったら、この世界は、私たちはどうなってしまうのか。それとも私たちがすでに…？知識ゼロからの哲学対話。



『13歳からの地政学』田中孝幸 (東洋経済新聞社)

「地政学」とは、各国の地理を踏まえて歴史や現在の国際情勢を分析する学問のこと。「地政学」が分かれば、歴史問題の本質やニュースの裏側、世界の仕組みが見えてくる！この本では、中高生の兄妹と年齢不詳の男「カイゾク」との会話を通して「地政学」を楽しく学べる。



『13歳からの経営の教科書』岩尾俊兵 (KADOKAWA)

中学校の図書館で見つけた不思議な本『みんなの経営の教科書』。そこからヒロトは仲間とともにビジネスを始め、社会の課題に向き合うことに。「人は誰でも自分の人生を経営している。だから、すべての人にとって経営は必要不可欠」という思いから、中学生から大人まで楽しめる物語形式で書かれた本。



『運動脳』アンデシュ・ハンセン (サンマーク出版)

脳を働かせるには「有酸素運動」！何歳からでも・1日5分でも効果が出る、学力・集中力・記憶力・想像力…脳のあらゆる力を伸ばす運動の秘訣を紹介。『スマホ脳』で話題の著者のベストセラー。



『食べ物が足りない！食料危機問題がわかる本』井出留美 (旬報社)

人口爆発、気候変動、紛争、貧困、さらにコロナが追い打ちをかけ、世界はすでに10人に1人が飢餓状態…。今、世界最大の課題とされる食料危機に、私たちはどう向き合うべきか。イラストで分かりやすく解説。



『うさほん』今泉忠明 (西東社)

うさぎって、表情は変わらないし鳴かないし、ただふわふわでかわいいだけ…ではない！急にすごいスピードで走ったり足をダンッて踏み鳴らしたり。そのかわいさと奥深さをマンガで紹介。『ねこほん』『いぬほん』『とりほん』も！



『スクラッチ』^{うたしろさく} 歌代朔 (あかね書房)^{しよぼう}

コロナ禍で大会が中止になったバレエ部の鈴音。出展する予定の絵画展の審査がなくなった千暁。それでも「平常心」を言い聞かせ「カラフルな運動部の群像」を描き続ける千暁のキャンバスに、鈴音が墨を飛ばしてしまい…。何もかもが中止・延期・縮小となる中でもがきながら未来に手を伸ばす中学生たちの物語。



『水まきジイサンと図書館の女王さま』丸山正樹 (借成社)

小4の美和と英知は、わけあって手話で会話をする。ふたりの前に次々と現れる小さな謎…土しかない花壇に水をまくおじいさん。図書館で大切なしおりを失くした女の人。そして町の猫たちの様子が変に。そんなある日、ふたりは耳の聞こえないおばあさんに出会う。



『住所、不定』スーザン・ニールセン (岩波書店)

4カ月前、ぼくとママはキャンピングカーで暮らし始めた。アパートから追い出されてホームレスになったんだ。ところが一時的なはずの車上生活は長引き、しだいに身も心も追い詰められていく。テレビ番組に出て賞金を獲得すれば何もかも解決する…ぼくはそう信じた。少年の涙と希望の物語。

「5分間ノンストップショートストーリー」



シリーズ

(PHP研究所)

【6冊】

「1冊でわかる」シリーズ



(河出書房新社)

【5冊】

分類	書名	著者・監修者等
歴史	ほんとうにあったふしぎな話 シリーズ【全3巻】	桜井 信夫
芸術	マンガ教科書に出てくる美術・建築物語 シリーズ【全5巻】	芳賀 靖彦
スポーツ	コツが身につくスケートボード	早川 大輔
げんご 言語	13歳からのプレゼンテーション	松永 俊彦
	世界が広がる 押し活英語	劇団雌猫
しょうせつ 小説	図書館版 キノの旅	時雨沢 恵一
	冷たい校舎の時は止まる 上・下	辻村 深月
	ガリレオの事件簿 1・2	東野 圭吾
	アオハルリセット	丸井 とまと